

# 温もり溢れる義援金 76,000,000 円 を超えました。ありがとうございます。

（引き続き義援金窓口は羽曳野市社会福祉協議会などに設置しています。ご協力をお願いします。）

- |                              |                            |                           |                       |
|------------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 城山南自治会 (30,000)              | 恵我町会 (100,000)             | 南恵我之荘今在家高生クラブ (10,000)    | 羽曳野市青少年健全育成推進協議会      |
| 古市尋常小学校昭和17年卒業同窓会 (20,000)   | 羽曳が丘地藏尊世話会 (50,000)        | 羽曳野市さわやか体操会 (30,000)      | 羽曳野市文化連盟              |
| はびきの市民大学スタッフの会 (15,089)      | 羽曳野自動車整備協業組合 (50,000)      | 南大阪食肉卸業協同組合有志一同 (200,000) | 檜山北町会                 |
| 野々上台地自治会 (60,000)            | 南宮西自治会 (100,000)           | クラウン歌謡学院 華咲き会 (50,000)    | 西浦東校区福祉委員会若葉会         |
| 城山会 (150,000)                | エクセル西浦自治会 (100,000)        | 羽曳野市母子福祉会 (32,000)        | スパル・トータルプランニング㈱       |
| 林義和を支援する会ゴルフ大会実行委員会 (80,482) | 東大塚高生クラブ第一・第二クラブ有志 (5,000) | こどもまつり実行委員会 (42,320)      | 児童養護施設羽曳野荘 職員児童一同     |
| 羽曳野市茶華道連合会 (20,000)          | 高鷲北東クラブ (33,000)           | 西本妙子 (100,000)            | その他多数の方にご協力いただいております。 |
| 羽曳野市ボランティア連絡会 (135,000)      | 羽曳野美術協会 (26,841)           | 羽曳野市商工会会員ニューとり藤           | 【敬称略、順不同、( )内は金額：円】   |

## ◆東日本大震災への支援活動について

羽曳野市に深く関係する多くの人たちが、震災で被害を受けた方々にいろいろな支援をされています。

### 動かずにはいられなかった・・・

#### チャリティーフリーマーケット開催

4月10日(日)、古市ふれあいスポットにて『東日本大震災被災地の復興』を願い羽曳野青年団協議会（古市六町青年団・軽里青年団）主催での“チャリティーフリーマーケット”が行なわれました。このチャリティーでは地元の祭りを通じて知り合った仲間達が被災地である東日本に一日も早い復興の願いを込め、街角での募金の呼びかけも行ないました。当日集まった¥303,419円は羽曳野市役所へ義援金として届けていただきました。



### 婦人会のつながり「何か必要ですか？」

#### 婦人会のネットワーク

地震2日後の13日に、高鷲婦人会が岩手県などに「何か必要ですか？」とFAXを送信したのがはじまりでした。翌日、岩手県婦人団体協議会より、沿岸部の現況などを示した返信があり、これを機にまずはレターパックで家庭薬やマスク350枚ほどを送られたそうです。

3月末には、密な支援体制をとるため、岩手県の大船渡市地区婦人団体協議会を支援受入先と決めました。現在も高鷲婦人会の役員8人を中心に、会員700人が一丸となり、物資（なべ・包丁・布団など）を集め、仮設住宅の建設が進められる同市へ届けられています。有事の際の婦人会のネットワークの迅速かつ的確さには驚かされます。



### ニューヨークから母国へ・・・

#### グラフィックデザイナーの思い

羽曳野市立小・中学校の卒業生である玉田佳奈子さんは、米国でグラフィックデザイナーとして活躍しています。佳奈子さんは震災で被害を受けた方々を支援するため、友人の潮千愛さんと中村いずみさんの3人で「HOPE Japan」という支援組織を設立しました。支援方法はデザインした直径2.5インチのバッジを一つ3ドルで販売し、すべての売り上げを寄付するという取り組みです。5月22日の時点ではすでに目標である10,000ドルを超え、世界中で購入いただいているとお聞きしました。佳奈子さんは「デザイナーとして何か海外からでもできる事をしたかった」との思いからこの活動をスタートさせ、「多くの支援金を集められる事だけではなく、羽曳野市民の皆さんにがんばろうという未来への展望（希望）も持って頂ければ幸いです。」とお話いただきました。※売上金はNYのジャパン・ソサエティーを通じて被災地支援活動のために使われます。

「HOPE Japan」のブログ <http://hopejp.blogspot.com/>

